

福井市施設マネジメントアクションプラン第1期（素案）に 関する市民説明会の結果の公表について

本市では、保有する施設全体の最適化や更新コストの平準化を図ることで、健全で持続可能な財政運営を実現するため、「福井市施設マネジメントアクションプラン第1期（素案）」を作成しました。

つきましては、市民の皆様を対象に本素案の内容や背景等について説明会を開催しましたので、その内容等をお知らせいたします。

1. 市民説明会の日程及び参加者数

市民説明会は、8月19日から8月24日までの期間で、市内10カ所の公共施設で10回開催し、165人の市民の皆様にご参加いただきました。参加者の状況は以下のとおりです。

ブロック・地区	開催場所	日程	参加者数
光（清水）	きらら館	8月19日（月）	30人
美山	美山公民館	8月20日（火）	65人
越廼	越廼総合支所	8月21日（水）	4人
あずま	和田公民館	8月21日（水）	3人
あたご	木田公民館	8月22日（木）	7人
足羽	東郷公民館	8月22日（木）	13人
みなみ	社西公民館	8月23日（金）	4人
川西	鶉公民館	8月23日（金）	27人
不死鳥	旭公民館	8月24日（土）	8人
九頭竜	中藤島公民館	8月24日（土）	4人

【ブロック・地区ごとの参加者数】

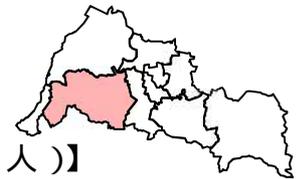


2. 説明会でいただいた意見等とそれに対する市の考え方

次ページ以降は、市内10カ所で行われた説明会ごとに、参加者からいただいたご質問やご意見等と、それに対する市の考え方を示しています。

参加していない方にもご理解いただくため、説明会時の回答が不十分だったものなどについては、担当所属に確認するなどした上で、一部語句の追加や削除等を行っています。

施設マネジメントアクションプラン第1期(素案)に直接関係しないご意見や個人的な所感等については、今回掲載していませんが、担当所属へ伝えさせていただきました。



【光（清水）ブロック説明会 8月19日開催（参加者30人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	清水総合支所庁舎の解体に伴い、入居している土地改良区に退出するよう言われている。当該団体は、市や県の事業の一部を担っており、家賃もそれなりに払っているが、市のサポートはないのか。	清水総合支所は、清水健康管理センターへ機能移転後、既存施設は解体せず、市の書庫や倉庫に活用する予定です。当該団体については、既存施設のうち、耐震性のある建物の一部を提供する方向で事務局と調整中です。
2	素案で借地料の文言が出てくるが、地権者との話し合いはどのような具合で進んでいるのか。	地権者の方との話し合いですが、個別に各担当所属が対応中で、引き続き地権者の方との話し合いを進めていきたいと考えています。
3	市民アンケートを行っているが、そのフィードバックはしているのか。	市民アンケートについては、昨年11月に市民2,000人を無作為で抽出して行っており、プラン策定の必要性や数値目標等について概ね理解をいただく結果となりました。その結果については、アクションプラン素案の末尾に添付し、市のホームページでも今年の2月に公表しています。
4	もっと施設の利用者やネットを使えない市民の方にも広報して欲しい。	広報の仕方について検討してまいります。
5	素案に示されている施設の方向性が変わることはあるのか。	素案の方向性はあくまでも市の方針を示しており、パブリック・コメントや市民説明会で皆様からいただいた意見を踏まえた上で、プランを公表します。方向性を変えるかどうかは意見の内容を踏まえた上になりますが、例えば、機能廃止した施設を民営化できれば、機能が残るとともに財政負担がかからないので、見直すことは有り得ると考えます。
6	まだ新しい施設もある中で、廃止は取り壊しではなく、まだ色んな形で残す可能性があるということか。	財政再建の取組みの一環の中で、財政負担がかからないという前提のもとで、民間事業者や地元が運営することが可能であれば、施設の有効活用を図ることができるので、残す可能性はあると考えます。

7	<p>借地料が異常に高いが、(民営化など廃止後の施設の有効活用を図る上で、借地料に関して) 行政は不干涉か。</p>	<p>施設ごとに状況は異なるため、ケースバイケースになると思われますが、借地料を下げることで施設の利活用が図れるのであれば、そういった方向も検討してまいります。</p> <p>ただし、仮に借地料が下がったとしても、運営にかかる人件費や光熱水費のほか、老朽化に伴う改修費などの財政負担が残ることが課題となります。</p>
8	<p>少子高齢化で田舎の小学校の空き教室が増え、公民館の老朽化も進む。これらの施設の維持管理が今後課題になり、順化小学校と順化公民館を例とした複合化などを第2期、第3期にやっていかなければならないと思うが、そのときの社会情勢や経済状況を踏まえて判断するのか。</p>	<p>小学校や公民館は、アクションプランで「方針決定」の判定をしています。</p> <p>学校については、学校規模適正化検討委員会で、主に複式学級を持つ、又は将来的に複式になる学校を対象に教育的観点から検討を進めており、その答申を受けて各学校の方向性を判断していきたいと考えています。また、学校の大半が老朽化していることも課題となっています。</p> <p>公民館については、自治会の意向や学校再編、避難所機能の必要性や施設の老朽化状況等を踏まえ、市有施設との複合化や転用、集約化などが主題になると考えます。いずれにせよ、第1期の5年間で方針を決めた上で、第2期、第3期に複合化や統廃合等を進めていかなければ、持続可能な行政運営はできないと考えています。</p>
9	<p>ハピリンの整備は、今後どのくらいかかるのか。</p>	<p>今後ハピリンに関して、新たな整備を行う予定はありません。</p>

【美山地区説明会 8月20日開催（参加者65人）】



	市民の意見	意見に対する市の考え方
1	行政職員は市民の方向を向いているのか。市民ファーストになっているのか。	財政再建計画は、市民の皆様の方を向いて策定した計画です。
2	コスト削減優先の財政再建計画が、人口減少に拍車をかけるのではないか。	当該計画が人口減少に拍車をかけるものとは考えていません。
3	福井市中心部が栄え、周辺部は衰退しても良いのか。	周辺部においては、地域の資源を活かした振興施策や、地域コミュニティの維持や交流・定住人口の増加を図るための事業、集落支援員や地域おこし協力隊による地域活性化を支援する事業などにも取り組んできたところであり、今後とも、市全体の活性化を図ってまいります。
4	福井市に必要なのは施設の廃止ではなく、施設を活用した攻めの営業展開ではないのか。また、素案は市長も了解しているのか。	機能廃止や集約化などの方向性にした施設については、耐震性が劣っていたり、老朽化が著しい場合は解体処分を進める一方、建物性能が比較的に良い施設は、民間事業者などからご意見をいただくとともに、借地の場合には地権者の方々にご理解をいただきながら、貸付や譲渡などの有効活用を図ってまいります。 また、素案は市長に説明し、了承を得ています。
5	市町村合併で編入した周辺地域は、切り捨てるのか。	周辺部においては、地域の資源を活かした振興施策や、地域コミュニティの維持や交流・定住人口の増加を図るための事業、集落支援員や地域おこし協力隊による地域活性化を支援する事業などにも取り組んできたところであり、今後とも、市全体の活性化を図ってまいります。
6	市民、議会の意見を反映して、今後財政再建計画の見直しをどのように進めるのか。	将来にわたって健全で安定した財政運営を行っていくため、計画に掲げた取組を着実に進めていく必要があり、現時点で見直しは考えていません。

7	<p>素案は、どのような手続きを経て、どのようなスケジュールで正式な計画となるのか。</p> <p>また、素案の作成にあたっては、本来地域住民の意見を聞いて行うのが手順だと思うが、パブリック・コメント募集後に説明会が行われている。この説明会の意見は、素案の決定・審議過程の中でどのような扱いになるのか。パブコメとは異なり、正式なものでないため、反映されないのではないか。</p>	<p>素案の作成にあたっては、昨年度に市民アンケートのほか、議会でも様々な意見をいただきました。今年度には、パブリック・コメントや市民説明会で、市民の方から意見をいただいています。その内容等を踏まえながら、アクションプランを策定したいと考えています。最終的には、市長をトップとする「福井市公共施設等総合管理本部」にて審議・決定し、議会に説明した上で公表してまいります。</p>
8	<p>美山地区には多くの施設があり、その維持管理でお金がかかっていることも事実である。ただ一方で、各施設には利用者を含めた多くの関係者がいることも事実であり、それらを踏まえて、財政にできる限り負担をかけない運営を検討していただきたい。美山や越廼は過疎債というものがある。行政には、過疎債を有効に使いながら、地域発展のためにも施設の運営をお願いしたい。</p> <p>また、慎重にアクションプランの策定等を進めていただきたい。</p>	<p>あくまでも素案であり、今回の説明会やパブリック・コメントでいただいた意見を踏まえた上で、アクションプランの策定を進めてまいります。</p>
9	<p>「そば工房木ごころ」は、施設の判定内容で、利用者が固定していることや公の施設としての設置意義が薄れていることを挙げているが、この施設はまちおこしのために建てられたものであり、我々は市の開催イベントに参加したり、第6次産業を興していることから、市の事業に寄与している。判定内容に納得がいかない。</p>	<p>判定内容については、広く多くの団体に使われていないことから、「機能廃止」としており、そば工房木ごころで行っている事業が公に寄与していないという意味ではありません。</p> <p>今後は、公の施設として「機能廃止」した場合、現在の利用団体へ施設を貸付する形で継続して運営できないか、検討してまいります。</p>
10	<p>少子高齢化社会に向けて、「住み慣れた地域で、健康で安心して共に助け合って生活ができる地域を作しましょう」と市の方針で謳っている中、今回の方針については理解ができない。もっと慎重に進めていただきたい。</p>	<p>あくまでも素案であり、今回の説明会やパブリック・コメントでいただいた意見を踏まえた上で、アクションプランの策定を進めてまいります。</p>

11	<p>市として機能廃止後に、施設を活用する方法を考えるとということでのいいのか。この計画を覆すには、どのような行動が有効であるのか。</p>	<p>本計画の内容のほか、施設の有効活用についても丁寧に説明し、市民の皆様からご理解を得られるよう努めてまいります。</p>
12	<p>説明会で出た意見やそれに対する市の回答は、全てオープンにしたい。同じ意見は、集約して発表するのではないか。美山でいくつかの意見が出たのかなど詳細については公開しない方針なのではないか。</p>	<p>同じような意見については、まとめて公開する予定ですが、今回いただいた意見については、それに対する市の考え方を示した上で公開する予定です。</p>
13	<p>美山総合支所にはどのくらいの費用がかかっているのか。また、活用についてはどのように考えているか。</p>	<p>美山総合支所庁舎は、築32年の耐震性のある建物であり、借地料など年間800万円ほどの費用がかかっています。今回の素案においては、2期以降検討という方針を示していますが、有効に活用されていない空間もあることから、民間事業者や地元の意見等を伺いながら活用を検討してまいります。</p>
14	<p>ウインクのテニスコートの廃止に反対する。1面は全く改修されていない。管理状況も全く改善されておらず、安全確保が為されていない。ハードコートについては、何人も捻挫している。指定管理者に言っても対応がなく、担当所属に届いているかが分からない。実際に施設の状況を見たことがあるのか。</p>	<p>ハードコート1面(Aコート)の老朽化が進んでいることは把握しており、現場も確認しています。改修が必要な状況ではありますが、以前から利用者が少なく、十分な費用対効果が見込めないことから、今のところ改修の予定はありません。</p>
15	<p>民間ベースでは、採算性が無ければ廃止という理論は通用するが、行政はもっと利用者に与えている影響(幸せ感)なども加味して判断して欲しい。利用者目線で考えれば、ハードコートでは集客ができないと思う。運動公園やわかばのテニスコートは、土日に大会や学生で埋まり、その受け皿として「ウインク」に人が流れてくる。そういう部分も考慮して欲しい。 「ウインク」については、投資をするべきではないか。屋根付庭球場</p>	<p>本市では今後、人口減少や少子高齢化により、市税をはじめとした収入が減少する一方で、施設の老朽化が進み、その更新費の増加が見込まれることから、今ある全ての施設を維持することは困難であると考えています。 その上で、素案では事業の採算性だけでなく、公の施設としての必要性や、建物性能、利用者数などを踏まえて判定していますので、ご理解ください。 美山庭球場「ウインク」については、運動公園やわかばテニスコートが大会で埋まっている際に、代替施設になりうることは</p>

	<p>を造ってはどうか。屋根があれば何でもできるし、稼働率が上がる。マイナスの視点だけで見るべきではない。</p> <p>また、単なる大会目的のテニスコートではなく、教室やイベントをする憩いの場である。そういった面も踏まえて欲しい。仮に廃止となった場合、活用方法を検討すると言っていたが、そのスケジュールや手段、ステップについても説明して欲しい。</p>	<p>想定していますが、実際にはわかば・西公園・きららが全て埋まっている日でもウイंकには空きがあることが多く、あまり代替施設としての利用は多くないと思われます。</p> <p>屋根付きのテニスコートに関しては、多額の費用が必要となるため、整備することは困難です。また、屋根付きのテニスができる施設は、アイアイドームや清水ふれあいドーム、中藤屋内運動場等が既にあります。</p> <p>ウイंकは、面数が少ないことから大会目的ではなく、練習やレジャー目的の施設と考えています。</p> <p>施設を廃止した場合は、耐震性が劣っていたり、老朽化が著しい場合は解体処分を進める一方、建物性能が比較的の良い施設は、民間事業者などからご意見をいただくとともに、借地の場合には地権者の方々にご理解をいただきながら、貸付や譲渡などの有効活用を図ってまいります。</p>
16	<p>アクションプランは廃止計画であり、その後が何も見えてこない。施設の方針についても、素人には分からない。施設が廃止した後に、どうなっていくのか具体的なものがあれば、納得するかもしれない。難しい言葉だけでは納得はできない。</p>	<p>今後、そういった事を含めて丁寧に説明してまいります。</p>
17	<p>アクションプラン素案を策定したときにしなければならなかったのは、管理団体等との話し合いであって、策定の手順が逆であったのではないか。素案の「方向性」は決して決定ではなく、美山の方々の思いを持ち帰って欲しい。</p> <p>「美山庭球場「ウイंक」の廃止は、地区の衰退に繋がる」という言葉が全てを表している。このプランでは、全ての施設が同じ条件・基準で判断されており、その上で結論が出されている。同じ土俵で基準を考えるのではなく、一度見直しをして欲しい。事前に、</p>	<p>今後は、施設ごとの状況に合わせて、丁寧な説明を行うとともに、市民と一緒に考えてまいります。</p>

	<p>「借地料は要らない」というような声を聞いていれば、方針も変わったものになったのではないか。今日聞いた意見を持ち帰って検討し、改めて美山に報告をして欲しい。</p>	
--	--	--



【越廼地区説明会 8月21日開催（参加者4人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	<p>昨年度の説明会以降、支所の移転について、どのような協議を行ってきたのか。</p> <p>旧館長室を含めて支所エリアが広いが、将来的に支所職員の人数が減った場合に、ここまで広いスペースを確保する必要があるのか。</p>	<p>今年度に入ってから、移転に向けて公民館と協議を行っています。</p> <p>旧館長室は、公民館との共有のミーティングスペースとして考えており、今後は支所の人数構成に併せて、間取り変更等を検討してまいります。</p>
2	<p>ふれあいセンターは、社協だけでなく、老人クラブも入っており、児童クラブの仮設プールの運営もしている。また、近隣施設と防災訓練を合同で実施しており、できるなら永久に残して欲しいが、いつごろまで残してくれるのか。</p>	<p>時期を含め施設の利活用については、利用団体の地区社協と協議してまいります。</p>

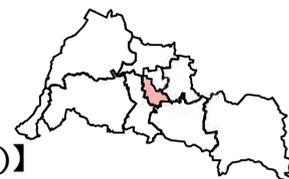


【あずまブロック説明会 8月21日開催（参加者3人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	市民アンケートはどのような形で行ったのか。また、その内容について、美山庭球場ウインクの廃止に賛成の意見が多かったか。	市民アンケートについては、昨年11月に市民2,000人を無作為で抽出して行いました。その中でウインクは、7割以上の方から「優先して再編を検討すべき」または「どちらかと言えば優先して再編を検討すべき」であるという回答をいただきました。
2	市民アンケートには、利用者数や財政負担のような施設情報は添付されているのか。利用者にもっと直接意見を聞いて欲しい。 また、判定内容の中で類似施設が示されているが、美山ウインクを利用している東エリアの住民にとっては、なかなか行くことが難しい場所である。市全体のバランスを考えていただきたいと思う。	市民アンケートには、利用者数や財政負担、各施設の情報を掲載した上で回答をいただいています。 また、利用者からは、昨年11月の利用者アンケートのほか、パブリック・コメントや市民説明会において多くの意見をいただいています。 テニスなど特定の競技を行うスポーツ施設は、防災拠点機能を有する地域体育館とは異なり、従来から地域に偏りなく配置する考えはありません。スポーツは、趣味や娯楽の一つであることから、利用者自らが施設を探して足を運んでいただくのが基本です。サッカー、野球、ソフトボールなど、他の競技の愛好者の中にも、近くに専用の施設がない方は大勢いらっしゃいますので、ご理解をお願いします。
3	財政面だけで方向性を決めて欲しくなかった。「廃止」の方針を出す事は簡単かもしれないが、ウインクは地域振興や健康増進に繋がるとともに、素晴らしいロケーションであるため、(高額な借地料を減額するなど)財政負担を減らす工夫をしながら、維持する方向性に進めていかなかったのが残念。維持も検討して欲しい。	施設ごとに状況は異なるため、ケースバイケースになると思われませんが、借地料を下げることで施設の利活用が図れるのであれば、そういった方向も検討してまいります。 ただし、仮に借地料が下がったとしても、運営にかかる人件費や光熱水費のほか、老朽化に伴う改修費などの財政負担が残ることが課題となります。
4	ウインクの地権者には、「機能廃止」の方針は示しているのか。	平成30年8月に公表した財政再建計画で廃止の方向性で検討することとなったため、同年9月に地権者に対して、今後の進め方を個別に説明しています。

5	<p>利用者数について、西公園やわかばテニスコートは、ジュニアや一般の大会参加者数を含んでいると思うが、そのような大会利用の可能なテニスコートと市民がテニスを気軽に楽しめるウイंकを同じ土俵に上げて考えるのはどうか（厳密には用途が異なるのでは）。</p>	<p>大会利用の可能なテニスコートであっても、市民が気軽に利用することは可能であるため、分けて考えてはいません。一方で、公園等の無料テニスコートは市民が気軽に楽しめるテニスコートと言えますが、これらと同列に考えるには維持管理費（特に借地料）の負担が大きな課題となります。</p>
6	<p>ウイंक以外のテニスコートを利用することもあるが、東体育館テニスコートは部活動で利用されていることが多く、松岡はいつもいっぱいである。行きやすさ、利用しやすさを考えるとウイंकを存続して欲しい。また、予防医学の観点からも、スポーツ施設は残すべきである。ウイंकでテニスをして、みらくる亭で宿泊する県外や海外の方も知っている。ウイंकが無くなれば、福井市全体の観光にも影響が出ると思うし、何より美山地区全体の衰退に拍車がかかるだろう。</p>	<p>ウイंकの今後の活用については、地権者の方から理解を得られ、地元の方等に管理・運営を担っていただくことで、市の財政負担が無い形になるのであれば、現在の機能を残すことも可能と考えます。</p> <p>みらくる亭などは、民間事業者からの聞き取りにより市場性が確認できたこともあり、「民営化」の方針を示したところです。</p>
7	<p>市民説明会で、ウイंकについて廃止反対という意見が多く出たと聞いているが、そういった意見は、他の施設ではないのか。</p> <p>また、利用者の声をどのように拾っているのか。</p>	<p>利用者の方からの廃止反対の声はいただいています。</p> <p>また、利用者の声は、昨年11月の利用者アンケートのほか、パブリック・コメントや市民説明会において多くのご意見をいただいています。</p>
8	<p>財政負担を考えると、アンデパンダン広場は、ウイंकよりも高い。こちらは、今回「コスト削減」となっているが、競技によって対応が異なるように見える。</p>	<p>アンデパンダン広場については、市内に野球（特に硬式）の試合ができるグラウンドが少なく、現在行われている複数の大会が開催できなくなるおそれがあることから、機能廃止は考えておらず、「コスト削減」の方針を示しました。</p> <p>一方で、テニスコートは利用が少ない施設が多く、集約化が可能であるとの判断から、利用者が少なく、費用対効果の低いウイंकや川西テニスコートを「機能廃止」としました。</p> <p>今後は、5年ごとに計画を策定し、第2期では改めてアンデパンダン広場の方向性も検討することになります。市全域のスポ</p>

		ーツ施設を対象に、様々な検討を行っていくことが必要であると考えます。
--	--	------------------------------------

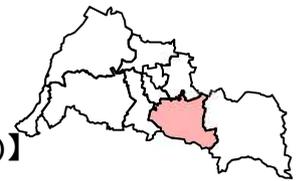


【あたごブロック説明会 8月22日開催（参加者7人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	<p>美山庭球場「ウインク」を利用しており、市の財政難はよく分かったが、壊すだけでなく、職員のアイデアで存続させて欲しい。市が地権者と交渉し、安くすることもできるのではないかと。利用者の負担を増やしてでも、存続させるといった市の暖かい対応を望む。</p>	<p>施設ごとに状況は異なるため、ケースバイケースになると思われませんが、借地料を下げることで施設の利活用が図れるのであれば、そういった方向も検討してまいります。</p> <p>ただし、仮に借地料が下がったとしても、運営にかかる人件費や光熱水費のほか、老朽化に伴う改修費などの財政負担が残ることが課題となります。</p> <p>なお、本市は施設を壊すことが目的ではなく、あくまで市営施設としての「機能廃止」であるため、地元が所有し、運営していただくなど本市の財政負担なく機能が継続される場合には、方向性の変更も有り得ると考えています。</p>
2	<p>市は財政負担の無いかたちで存続できる方法が模索できれば、施設の存続もありうるとのことだが、研修センターについてはどうか。</p>	<p>研修センターは、勤労者以外（自主グループ等）の利用が多く、近隣の貸館施設等で代替が可能であることから、公の施設としての設置意義が薄れていることに加え、地価の高い街中に立地しており、維持管理の財政負担が大きいことから、「機能廃止」の方針を示しました。</p>
3	<p>財政危機は分かるが、長期的な視野に立って総合的に考えて欲しい。施設にこだわるわけではないが、機能を変えてでも施設をなんとか維持できる方法を考えて欲しい。</p>	<p>素案の方向性はあくまでも市の方針を示しており、パブリック・コメントや市民説明会で皆様からいただいた意見を踏まえた上で、プランを公表します。方向性を変えるかどうかは意見の内容を踏まえた上になりますが、例えば、機能廃止した施設を民営化できれば、機能が残るとともに財政負担がかからないので、見直すことは有り得ると考えます。</p>
4	<p>長期的な展望で考えて欲しい。例えば、将来的に食糧事情も変わってくるため、食糧工場などの施設を公共施設として整備してはどうか。</p>	<p>財政再建期間中は、原則として新たな施設整備は行わないこととしています。</p>
5	<p>アクションプランの中で、機能廃止とは、建物がなくなるわけではな</p>	<p>施設の再開は考えていませんが、耐震性が劣っていたり、老朽化が著しい場合は解</p>

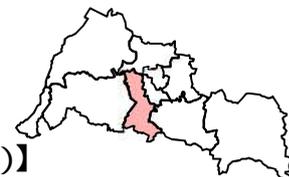
<p>くて、一回お休みになると思えばよいか。お休みしている間、使えない施設は解体するが、使える建物は民間と話し合いをして、転用を含めた利活用を図るということか。</p>	<p>体処分を進める一方、建物性能が比較的に良い施設は、民間事業者などからご意見をいただくとともに、借地の場合には地権者の方々にご理解をいただきながら、貸付や譲渡などの有効活用を図ってまいります。</p>
--	--

【足羽ブロック説明会 8月22日開催（参加者13人）】



	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	ウインクの借地料について交渉を行ったか。個人的にウインクを利用しているが、他のテニスコートは福井市の西部に集中している中、何とかウインクが残る方向性を検討して欲しい。施設の維持が難しいならば、その主要因である借地料交渉をぜひ行って欲しい。	市民説明会后に、地権者説明会を開催しており、引き続き地権者の方との話し合いを進めていきたいと考えています。
2	自治会の会計を行ったことがあるが、福井市に対し、様々なお金を1戸あたりいくらか払っている（社会福祉協議会、緑化委員会、福井を明るくする運動など）が、それらのように、スポーツ推進・健康増進等を目的に、お金を集めて施設維持をすることは検討できないか。	新たな市民負担の導入には、慎重な議論と市民全体の理解が必要と考えています。
3	市や県のテニス協会へ協議等を行ったのか。行っていないならば、説明をすべきであろう。	市や県のテニス協会には協議を行っておりませんが、市テニス協会からはウインクの存続に係る要望書をいただいております。
4	<p>長期的に見て、本計画の中で謳われているような施設削減や、民間との連携は必要だと思うが、その前段である公共間での連携が足りないのではないか。</p> <p>施設削減の前に、例えば地域住民に使いやすくすることで、地域活性化の仕組みづくりを作ったり、公民館を住民や民間に解放するなど、先にすべきことがあったのではないか。</p> <p>これらを見直さなければ、施設削減によって予算は浮くかもしれないが、地域と公共の間の繋がりなどが失われてしまう。それらを踏まえ、検討して欲しい。</p>	現在、福井市の施設で余裕がある部分については、民間活用を図るための取組みを行っています。今後、既存施設を含めて地域住民や民間事業者などがもっと柔軟に公共施設を利活用でき、その結果、地域の活性化に繋がるような仕組みづくりなども検討してまいります。

5	テニスコートにかかる 390 万円のうち、借地料はどれだけか。また、廃止はいつごろになるのか。テニスコートは来年も使用できるのか。	借地料は、年間 250 万円です。「機能廃止」の時期は、アクションプラン素案では、令和元年度以降としています。 来年度以降の使用に関しては未定です。
6	借地料は、来年度も予算計上はされているのか。	借地料は来年度予算に計上する予定です。
7	次年度から廃止となるまでの指定管理が行われない期間は、休止にして遊ばせるつもりではないか。	今後の運営方法は未定です。
8	ウイंकに対しては、多くの方が存続へ強い思いを持っているように感じた。こういった意見を押し立てても、廃止はするつもりなのか。	今後は、ウイंकの現状を踏まえ、丁寧な説明を行うとともに、市民と一緒に考えてまいります。
9	分遣所がいくつか廃止の方針となっているが、これはいくつかの分遣所を統合して分署にしていくということによいか。東郷分遣所についても、いずれ東消防署と統合するようなことは無いのか。職員も削減されるのか。余剰人員は生まれないのか。人員削減となれば、ウイंकの 390 万円ほどの維持費はそんなに多い金額で無いように感じる。ごっつおさん亭の有効活用についても検討して欲しい。	消防署所の再編については、庁舎及び人員の効率的配置と消防体制の充実強化を図ることを目的に消防署所を整理統合するものです。 足羽分遣所については、現時点において東消防署と統合する計画はなく、庁舎及び職員は現状のまま配置する計画です。 ごっつおさん亭については、現在、廃止後にどのように利活用できるか検討をしている状況です。
10	市は、市債残高をいずれ 0 にしようと思っているのか。0 にするという事は、市内に流通するお金が減るため、現在の水準の維持で良いのではないか。	市債残高の上昇を抑制していくことが必要であり、収支均衡を目指していきたいと考えています。



【みなみブロック説明会 8月23日開催（参加者4人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	市内のテニスコートは、試合のためのコートになっているため、もし美山や川西のコートを廃止するのであれば、体育館横のテニスコートを整備するなど、テニス愛好者に向けた何らかの対策を検討して欲しい。	東体育館と南体育館の敷地内にあるテニスコートの取り扱いは、需要も踏まえた上で今後検討してまいります。
2	公共施設は利用料をもらっても基本的には赤字である。どの程度の採算性で「機能廃止」と決めるのか。	事業の採算性だけでなく、公の施設としての必要性や、建物性能、利用者数などを踏まえて判定しています。
3	美山庭球場ウイックなど郊外部の施設は利用者が少ないため、廃止対象に挙がってしまうのではないか。	テニスコート全体で見ると、利用者数が少なく、維持管理費が高額で、費用対効果が低いことから、「機能廃止」の方向性を出していますが、例えば、「機能廃止」から「民営化」への変更など、市の財政負担なく機能が継続される場合には、方向性の変更も有り得ると考えています。



【川西ブロック説明会 8月23日開催（参加者27人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	市民説明会の告知方法が有効的でなく、周知が不十分。もっと広報紙においても大きく取り上げて、市民の関心を得るべきであった。	広報の仕方について検討してまいります。
2	川西テニスコートを駐車場や一時避難所、多目的公園などに転用できないか。	川西テニスコートについては、鶉地区にあり、地理的に重要な場所にあることは理解していますが、施設の機能廃止後に、市が地区の行事のために新たな駐車場を整備することは、他地区との公平性の観点から難しいと考えます。 また、一時避難所は、既存施設の中から選定することが基本であり、避難所として施設を整備することは、同様に難しいと考えます。 公園や他の競技施設にするなど他用途への転用については、周辺の状況や全市域における需要見込み等を十分に調査し、費用対効果等を慎重に検討した上で、判断する必要があると考えます。
3	廃止後の施設の活用方法の具体的な事例を示して欲しい。川西テニスコートに対する活用案はあるのか。	廃止後の利用については、建物性能が比較的良い場合、譲渡や貸付などが考えられます。ただし、川西テニスコートは借地であり、建物（トイレ・器具庫）の活用が難しいことから、機能廃止後に借地の返還を考えています。
4	アクションプラン素案の公表の前に、地域住民への呼びかけや利活用促進策の検討はできなかったのか。	アクションプラン素案は、全ての市民の意見を集約することが難しいことから、市の考えを一旦示したものです。
5	市民アンケートの結果を見ると、全体から見たときの川西地区の回答率は4.1%で街中が多い。利用実態の分からない街中の人々が回答すれば、廃止の方向性に賛成なのは当然で、郊外を切り捨てるようなことでは困る。	郊外切捨てるの考え方はありません。地域の特色や特徴を活かした街づくりが大事であり、地域の方から様々な意見をいただきながら推進してまいります。
6	非常用貯水装置（36t）がテニスコートの地下に埋められているが、そ	非常用貯水装置は、地区の防災対策に必要な不可欠なものであり、設置時に最も適当

	れはどうするのか。	な場所を自治会等と協議し選定した結果、川西テニスコートの敷地の地下に設置されています。撤去や移設には多額の経費が見込まれることから、現時点で当該装置の廃止（移設を含む）については考えていません。
7	2020年3月末の廃止と聞いているが、素案では廃止期間が2023年までとなっていることとの整合性はどうなっているのか。	機能廃止は、2023年度末までに決定をするということを示しています。素案には、具体的な時期までは掲載していません。
8	廃止後の解体、現状復旧費用は試算しているか。	解体費等の試算は行っています。
9	<p>少子高齢化等を鑑みたとき、平成27年の施設マネジメント計画の策定などの対応が遅すぎたのではないか。</p> <p>市の財政調整基金を取り崩した結果、財政難になったと言うが、その原因の責任問題について棚上げをしているのではないか。現在も、駅前のハピリンやアオッサ、セーレンプラネットなど「身の丈にあった」行政運営が行えていないのではないか。</p>	<p>これまで、フェニックス・プラザと市民福祉会館の複合化や、小学校と児童館との複合化などに取り組む一方、2022年度末の新幹線開業を見据え、JR福井駅周辺を中心に、有利な起債等を活用し整備を進めてきたところではあります。その結果、駅周辺では様々な状況の変化（空き店舗の減少や民間主導の再開発など）が起きています。</p>
10	市職員の給与水準を考えると、住民への痛みを押し付けるばかりではないか。	<p>財政状況が非常に厳しい中、市政運営を止めることなく乗り切っていけるよう、平成30年7月から31年3月までの9ヵ月間にわたり、職員給与について2.5%～10%（平均5.8%）の減額を行いました。</p> <p>また、現在、財政再建計画に基づき、職員数の縮減ならびに昇任制度や給料等級などの見直しを図ることで、計画的な総人件費の縮減に取り組んでいます。</p>
11	市の方針や背景は理解できたが、地域住民と再利用や活用の検討・協議を行った上で、方針の作成を行って欲しかった。今後、地元と対話をして欲しい。	あくまでも素案であり、今回いただいた意見や地域の方、地権者の方との協議を踏まえた上で、最終的な方向性を決めてまいります。
12	前もって地域住民と話していれば、特色ある街づくりのための利用	あくまでも素案であり、今回いただいた意見や地域の方、地権者の方との協議を踏

	<p>方法の検討など、知恵や工夫を出し合えたのではないか。様々な方向性を検討した上での廃止なら止むを得ないが、もっと住民と話すべき。</p>	<p>まえた上で、最終的な方向性を決めてまいります。</p>
13	<p>廃止では先行きが見えない。削減効果が確認できる年度ごとのバランスシートが必要ではないか。</p>	<p>人口減少が進んでいく中で、不要な公共施設も多くなるため、施設ごとに方向性を決めました。現状の規模だと、50年で3,500億、年70億円が必要となるため、施設の長寿命化や、面積の縮減による更新費、維持管理費の削減によって、年27億円の削減効果を目指しています。</p> <p>なお、財政状況については、福井市行政改革推進委員会内に財政健全化専門部会を立ち上げており、その中で専門家により進捗確認を行っています。</p>
14	<p>川西テニスコートの廃止について、市の説明では納得できない。自治会から要望も来ているため、公園などの活用も検討してほしい。市の前向きな考えを聞きたい。</p>	<p>公園への転用については、周辺の状況や全市域における需要見込み等を十分に調査し、費用対効果等を慎重に検討した上で、判断する必要があると考えます。</p> <p>あくまでも素案であり、今回いただいた意見や地域の方、地権者の方との協議を踏まえた上で、最終的な方向性を決めてまいります。</p>
15	<p>川西テニスコートは、福井市全体の施設であり、鶉地区のための有効活用は難しいのか。</p>	<p>現状は、鶉地区の住民の皆様だけでなく、福井市民を対象としています。</p>
16	<p>こちらの要望と市の回答が噛み合っていないので、結局川西テニスコートは更地化しかないのでは。</p>	<p>あくまでも素案であり、今回いただいた意見や地域の方、地権者の方との協議を踏まえた上で、最終的な方向性を決めてまいります。</p>
17	<p>川西テニスコートの廃止理由に「類似施設があるから」としているが、どこにあるかも分からないし、交通手段もない。また、コストだけの判断はいかがなものか。</p>	<p>事業の採算性だけでなく、公の施設としての必要性や、建物性能、利用者数などを踏まえて判定しています。</p>
18	<p>現状のやり方では、堂々巡りであり、決して納得できるようなものではない。納得できる中身を提示してほしい。</p>	<p>あくまでも素案であり、今回いただいた意見や地域の方、地権者の方との協議を踏まえた上で、最終的な方向性を決めてまいります。</p>



【九頭竜ブロック説明会 8月24日開催（参加者4人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	<p>市の財政運営が厳しくなっているため、本計画が必要であることは理解した。</p> <p>今後、機能廃止後に解体する施設や有効活用していく施設は、具体的に決まっているのか。</p>	<p>現在、検討をしている段階です。</p>
2	<p>再編施設一覧の中では、7施設ほどが耐震性が無く、築年数が経っているようだ。民営化や有効活用にあたっては、借地がネックになることが想定される。今後、市としてどのように地権者と協議を進めていくのか。</p>	<p>地権者からは、現在の用途で使用することを前提に土地をお借りしており、民営化や別用途に活用することについては、新たに協議を行う中で決めていく必要があります。現在は、本素案の方針について説明を行っている段階であり、素案を確定した際には、地権者としての考えをまとめていただく必要があると考えています。</p>
3	<p>仮に、地権者が更地にして返して欲しいと言った場合、更地で返還するしかないのか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
4	<p>仮に、全ての施設を解体し更地にする場合、どれほどのお金がかかるのか。</p>	<p>全ての施設を解体し更地にする費用は算出していませんが、相当の金額になると推測しています。</p>
5	<p>解体費用が多額になるのであれば、新幹線開業が近づく中で、現存の施設を有効活用する方法を考えて欲しい。特に、郊外に廃止施設が多い中で、当該施設を有効活用し、地域の観光事業に生かしてはどうか。</p>	<p>これから新幹線が福井に来るということは、まさに福井の強みであり、そういった点を活かしながら、施設の有効活用の方策も検討してまいります。</p>
6	<p>この説明会は、ある意味で官民対話であると思うが、1週間説明会を行って、素案について市民に伝わっていると感じているか。</p>	<p>本日は4人しか参加者がいない一方、美山や鶉地区などは参加者が多く集まりました。自分の地域の施設が対象になっていることが、参加する契機になっている様に感じます。</p>
7	<p>説明会の開催にあたっては、いかに興味を持ってもらうのが重要で、今回の廃止施設の他にも、廃止する必要がある施設があるのではな</p>	<p>今回の説明会では、市民に対して本素案の必要性などを説明してきました。今後も、ご理解いただけるよう丁寧に説明してまいります。</p>

	いか。	また、今回のアクションプランは第1期分であり、5年後には改めて第2期分を策定することになりますので、ご理解ください。
8	アクションプランは、人口が減る中で必要なものだと思う。ただ、進め方として、もっと市民に必要性を理解してもらいながら、丁寧に進めてほしかった。また、地権者にも理解してもらった上で廃止を行うなど、廃止後も借地料を払い続けるような事はないようにしてほしい。	廃止後の施設の放置は、非常に効率が悪いので、そのようなことがないようにしてまいります。また、遊休財産の処分（民営化に伴う売却等）を通じ、財源を確保しながら施設再編を進めてまいります。
9	廃止の方針を示す前に、住んでいる人や利用している人の意見を集約しなければ、なかなか進めていく事は難しいと思うし、有効活用については、郊外に廃止施設が多い中、地域の活性化のためにも、市は十分検討してほしい。	素案の方向性はあくまでも市の方針を示しており、先月のパブリック・コメントや今月の市民説明会で皆様からいただいた意見を踏まえた上で、プランを公表します。方向性を変えるかどうかは意見の内容を踏まえた上になりますが、例えば、機能廃止した施設を民営化できれば、機能が残るとともに財政負担がかからないので、見直しをすることは有り得ると考えます。 現在、福井市の施設で余裕がある部分については、民間活用を図るための取組みを行っています。今後、既存施設を含めて地域住民や民間事業者などがもっと柔軟に公共施設を利活用でき、その結果、地域の活性化に繋がるような仕組みづくりなども検討してまいります。
10	この素案については、全体的に仕方がない部分がある一方で、元気や夢が無いように感じてしまった。施設の廃止に対し、何か希望が無ければ、地元や利用者に理解を得てもらうことは難しいのではないかと。施設廃止後の解体費を踏まえると、このまま施設を継続することも、施設を廃止することもマイナスになってしまう。そう考えると、地域ごとに何か発展するようなことを行うべきではないか。	現在、福井市の施設で余裕がある部分については、民間活用を図るための取組みを行っています。今後、既存施設を含めて地域住民や民間事業者などがもっと柔軟に公共施設を利活用でき、その結果、地域の活性化に繋がるような仕組みづくりなども検討してまいります。



【不死鳥ブロック説明会 8月24日開催（参加者8人）】

	市民の意見等	意見等に対する市の考え方
1	市内テニスコートのコスト削減の具体的な方法を聞かせて欲しい。	例えば維持管理費の縮減のほか、利用料金の値上げや利用者数増加に向けた取組などが考えられます。
2	美山庭球場ウイंकについて、維持管理費の削減は分かるが、利用料金の値上げと利用者数の増加は繋がらないのではないかと。市内のテニスコート料金は特に夜間が高く、現状の料金を上げられると、廃止施設も出てくる中、利用しづらくなる。スポーツ施設がなくなっていくと、運動の機会も減り、社会保障費の増加にも繋がっていくと思う。テニスコートを少しでも利用しやすいように検討を進めて欲しい。	他のテニスコートの利用料金については、他自治体の状況や今後の維持管理費等を総合的に勘案し、現在の料金体系が妥当であるかを検討した上で、必要に応じて見直してまいります。
3	西公園、わかばの利用者数とウイंकの比較をされているが、コート数や試合数も違うことから、注釈がないと何も分からない市民の方には、維持費の割には利用者数が少ないと感じるなどうまく伝わらない。そういったことがないようにしっかり説明してほしい。	ウイंकに関しては、類似施設があり、利用者数が少ないため、「機能廃止」の方向性を示しました。今後については、地権者の方から理解を得られ、利用団体の方などに運営を担っていただくことで、市の財政負担が無い形になるのであれば、現在の機能を残すことも可能と考えます。
4	公共施設はもともと利益がないものを税金で賄っていたはずである。廃止する場合に市民の理解を得るためには、廃止によるマイナス効果と、財政再建に向けたプラス効果などの説明を併せてしないとイケないが、利用者数が少ない等の理由だけの廃止説明では理解を得られないのではないかと。	アクションプランを公表する際には、いただいた意見も反映させながら、市民の方や利用者の方に丁寧に説明を行ってまいります。
5	合併は効果的なものとして進めてきたはずだが、合併した施設が廃止対象となっているように見える。想定を超える人口減少があったのかもしれないが、合併が逆効果となった	合併町村の施設は、合併前の行政エリアの需要に対応するように計画・建設されているため、市全域を対象としたとき、施設規模が小さいものがあるなど効率性が悪い場合があります。

	のではないか。	合併区域を含めた周辺部においては、地域の資源を活かした振興施策や、地域コミュニティの維持や交流・定住人口の増加を図るための事業、集落支援員や地域おこし協力隊による地域活性化を支援する事業などにも取り組んできたところであり、今後とも、市全体の活性化を図ってまいります。
--	---------	---